

事例名：中国地域における産学官連携活動の推進

機関及び連携機関

- 独立行政法人産業技術総合研究所 中国センター
- 広島県産業科学技術研究所
- 財団法人ひろしま産業振興機構

功労者

- 独立行政法人産業技術総合研究所中国センター
客員研究員 塩沢孝之

事例の概要

- 国と県、研究機関と産業支援機関等の中の種々の人事交流を積極的に進め、中国地域における産学官連携の礎を築いた。
- 広島県産業科学技術研究所において知的クラスターへの重点的リード役を果たしてきた。
- 中国経済産業局の技術開発政策に種々の形で貢献した。

(特筆すべき事項)

- 知的クラスター創生事業における事業計画の策定に関与
- 財団法人ひろしま産業振興機構常務理事として地域における新たな産業技術開発に貢献
- 瀬戸内海研究会議理事として瀬戸内海環境保全に関する広域的研究を推進

具体的成果等

連携体制の特徴・波及効果

◎連携の概要とその特徴

文部科学省は地域科学技術振興政策である知的クラスター創成事業を推進しているが、功労者は広島県における知的クラスター創成事業である広島中央バイオクラスター構想の基本計画策定に貢献した。さらに、地域の産学官連携活動を強化するため国と県レベルでの種々の人事交流をスタートさせるなど地域の産学官連携に貢献した。

◎功労者の主な役割

功労者は通商産業省工業技術院中国工業技術研究所所長および広島県産業科学研究所副所長として中国地域における産学官連携活動に主導的な役割を果たし、地域の産業振興に貢献した。地域の産業振興に対する貢献と合わせて功労者はこれまでに中国経済産業局の各種委員会、呉市地方港湾審議委員会委員を勤めるなど、各種委員会等の委員として地域の発展に大きく貢献した。

◎連携体制によってもたらされたあるいは期待される具体的な効果

功労者が知的クラスター本部副事業総括を勤めた(財)ひろしま産業振興機構・広島県産業科学技術研究所知的クラスター本部においては医療・医薬品開発を行なう『バイオクラスター』が形成された。